

令和5年中の電話でお金詐欺（特殊詐欺）発生傾向

集計期間R5. 1. 1～R5. 12. 31

◆令和5年中 電話でお金詐欺被害認知件数・被害額前年比（暫定値）

区 分	令和3年中		令和4年中		令和5年中		前年同期比				
	件数	被害額(円)	件数	被害額(円)	件数	被害額(円)	件数	増減率	被害額(円)	増減率	
電話でお金詐欺 合計	155	268,941,618 (58,413,000)	198	562,317,415 (93,755,000)	227	981,489,443 (44,837,000)	29	14.6%	419,172,028 (-48,918,000)	74.5% (-52.2%)	
内 訳	オレオレ詐欺	40	93,217,000 (8,267,000)	66	239,773,000 (12,878,000)	59	234,395,118 (4,029,000)	-7	-10.6%	-5,377,882 (-8,849,000)	-2.2% (-68.7%)
	預貯金詐欺	26	20,959,000 (20,959,000)	15	40,980,000 (40,980,000)	14	10,922,000 (10,922,000)	-1	-6.7%	-30,058,000 (-30,058,000)	-73.3% (-73.3%)
	キャッシュカード詐欺盗	32	29,187,000 (29,187,000)	43	39,897,000 (39,897,000)	12	29,886,000 (29,886,000)	-31	-72.1%	-10,011,000 (-10,011,000)	-25.1% (-25.1%)
	架空料金請求詐欺	33	98,039,220	39	136,955,435	75	297,642,392	36	92.3%	160,686,957	117.3%
	還付金詐欺	20	16,925,040	14	19,569,357	31	38,655,189	17	121.4%	19,085,832	97.5%
	融資保証金詐欺	1	1,977,908	2	1,052,432	5	10,840,840	3	150.0%	9,788,408	930.1%
	金融商品詐欺	1	52,000	12	43,257,991	28	324,465,988	16	133.3%	281,207,997	650.1%
	ギャンブル詐欺	1	4,479,000	5	36,404,200			-5	-100.0%	-36,404,200	-100.0%
	交際あっせん詐欺	1	4,105,450	1	2,873,000			-1	-100.0%	-2,873,000	-100.0%
	その他の特殊詐欺			1	1,555,000	3	34,681,916	2	200.0%	33,126,916	2130.3%

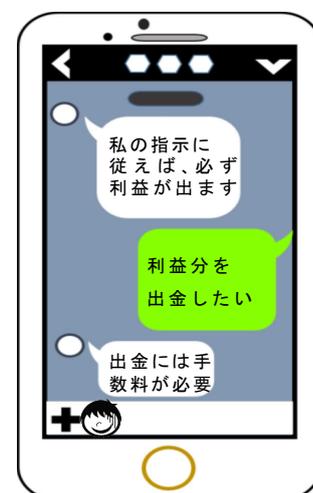
※ 下段括弧内は、被害品のキャッシュカードを使用して、犯人が払出した金額等（内数）。

◆令和5年中の電話でお金詐欺被害の特徴

主な特徴

令和5年中の電話でお金詐欺被害状況は、被害認知件数、被害額ともに前年を大幅に上回り、依然として高齢者を中心とした被害が高水準で推移している。

特に、自宅の固定電話に犯人から電話がかかってきたことをきっかけとした被害は、認知件数全体の約6割(55.1%)を占め、その大半が高齢者宅にかかってくるものであった。また、SNSやインターネットサイトの広告(POP)や警告画面に表示された連絡先に架電したことによる被害が認知件数全体の約3割(62件、27.3%)と増加しており、今後も従来からの常時留守番電話設定、特殊詐欺対策機器の設置等「犯人からの電話を受けない」ための対策と併せて増加する手口の広報啓発活動を推進していく必要が認められる。



認知件数227件 被害額約9億8,148万円 前年比大幅増！

～架空料金請求詐欺、還付金詐欺、金融商品詐欺の被害認知件数が倍増～

被害認知件数は227件で、前年比+29件（+14.6%）と大幅に増加した。

被害額は9億8,148万9,443円で、前年比+4億1,917万2,028円（+74.5%）の増加となった。

架空料金請求詐欺、還付金詐欺、金融商品詐欺の被害が大幅に増加したこと及び複数回の欺罔行為により高額の被害が増加したことが認知件数、被害額の増加の主な要因とみられる。

認知件数：架空料金請求詐欺	75件（前年比+36件）
還付金詐欺	31件（同+17件）
金融商品詐欺	28件（同+16件）



被害額1,000万円以上の被害 20件 被害額合計 約6億2,000万円余

依然として高齢者の被害が中心 ～半数が高齢女性～

被害対象者は、65歳以上の高齢者が159人（被害全体の70.0%）であり、依然として多くの高齢者が被害に遭っている。

内訳：90歳代 11人、80歳代 62人、70歳代 43人、65歳以上の60歳代 43人

男女別では、女性が151人（被害全体の66.5%）、男性が76人（同33.5%）で、女性の被害者が3分の2を占めるとともに、被害者の半数が65歳以上の女性であった（113人、同49.8%）。

未納料金名目、ウイルス除去費用名目の架空料金請求詐欺が増加

架空料金請求詐欺の金銭をだまし取る口実は、主に有料サイト利用料金等請求名目やコンピュータウイルスの除去費用名目（いわゆるサポート詐欺）等であった（63件、架空料金請求詐欺被害の84.0%）。

架空料金請求の内訳：有料サイト利用料金等	31件
名義貸しトラブル解決等	7件
訴訟関係費用等	5件
ウイルス除去費用等その他の名目	32件



還付金詐欺の被害者は、60歳代女性が約8割超！

還付金詐欺の被害対象者は、60歳代女性が26人であり、還付金詐欺被害の83.9%を占めた。

誰もが被害者になる可能性が増加！

コンピュータウイルスの除去費用名目を理由とした架空料金請求詐欺（いわゆるサポート詐欺）や金融商品詐欺等、被害者が利用しているSNS等に偽の警告や広告を表示させ、被害者からの連絡がきっかけとなる被害が62件であり、被害全体の27.3%を占めた。

特に、金融商品詐欺は、年令（被害年令：10歳代から80歳代）、性別（男性13人、女性15人）による被害者の偏りは認められなかったが、ソーシャルネットワーキングサービス（SNS）を端緒とした被害が23件であり、金融商品詐欺被害の82.1%を占めた。

◆電話でお金詐欺被害防止対策

○ 「犯人からの電話を受けない」

～犯人からの電話を受けない（かけない）ために～

- ・ 自宅固定電話への特殊詐欺対策アダプタや通話録音装置の取り付け、又は常時留守番電話設定や非通知拒否設定を活用し、メッセージを残さない人からの電話や非通知の電話に出ない。
- ・ サイトの未納料金請求や「裁判になる」などと記載されたメールが届いたり、パソコンに「ウイルス感染した」などと表示されたりしても、無視して記載の連絡先には電話をかけない。

○ 「電話を受けてもだまされない」

～万が一、犯人からの電話を受けてもだまされないために～

- ・ 電話でお金の話が出たら、詐欺を疑い、家族や警察に相談する。
- ・ 現金やキャッシュカードを要求されても渡さない、送らない。
- ・ 暗証番号は他人に教えない。



○ 「だまされても周囲が阻止する」

～だまされた人がいても周囲で被害を食い止めるために～

- ・ 家族や知人等でお互いに声を掛け合う。
- ・ 金融機関、コンビニエンスストア、宅配業者、公共交通機関等の職員による声掛けによって被害を阻止する。

※ 令和5年中 被害阻止件数 417件（前年比+9件）

うち、金融機関・コンビニエンスストアによる被害阻止件数 332件

【金融機関】

阻止件数 87件 阻止金額 8,109万5,750円

【コンビニエンスストア】

阻止件数 245件 阻止金額 2,481万5,290円



◆サイトを見て、電話でお金詐欺被害防止対策！

長野県警察HP

電話でお金詐欺対策

長野県警察HP

電話でお金詐欺被害防止漫画

「ピィじいさんとサギ」

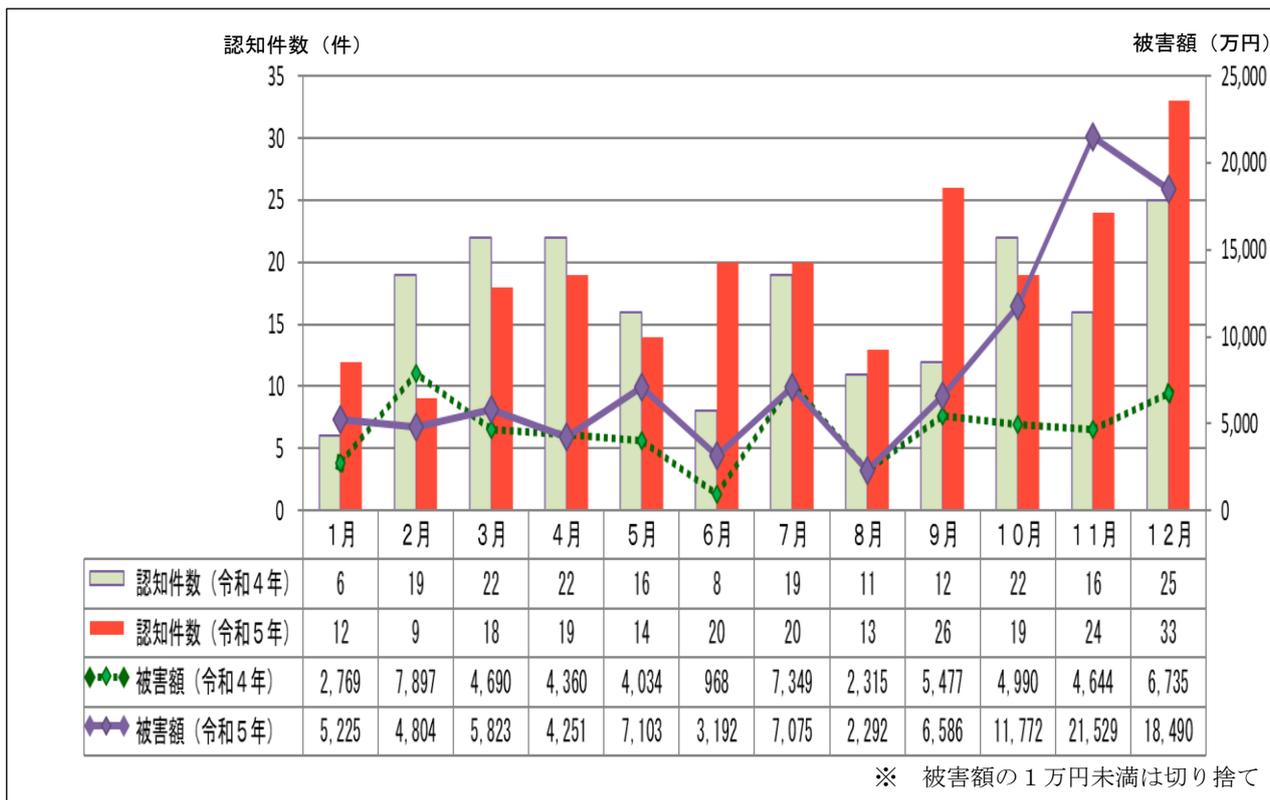
警察庁HP

警察庁・SOS47

特殊詐欺対策ページ（ムービー）



○ 月別 被害件数・被害額 前年比



○ 月別 被害件数 手口別

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	割合
オレオレ	2	4	9	7	1	5	3	3	4	1	10	10	59件	26.0%
預貯金				1	1	1	3	2	5	1			14件	6.2%
キャッシュカード 詐欺盗	2		1	2		2		2		3			12件	5.3%
架空料金請求	5	3	4	4	9	7	9	3	6	6	6	13	75件	33.0%
還付金	2	1	4	1	1	3	1	2	11	2	2	1	31件	13.7%
融資保証金				1	2	1	1						5件	2.2%
金融商品		1		3		1	2	1		5	6	9	28件	12.3%
ギャンブル													0件	0.0%
交際あっせん													0件	0.0%
その他	1						1			1			3件	1.3%
合計	12	9	18	19	14	20	20	13	26	19	24	33	227件	

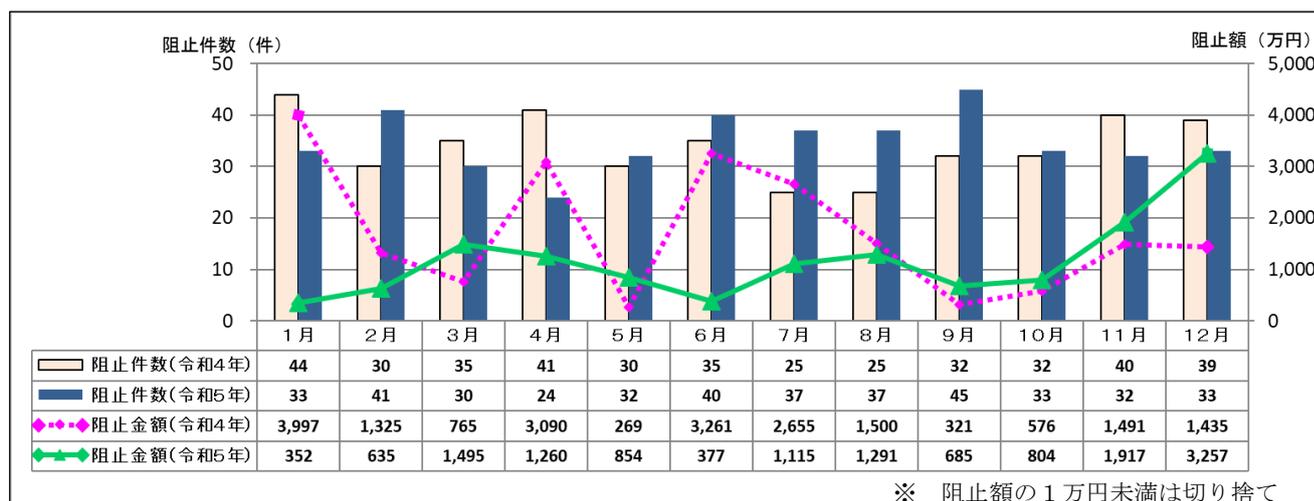
◆令和5年中 電話でお金詐欺(特殊詐欺)被害阻止件数・阻止金額 前年同期比(暫定値)

区分	令和3年中		令和4年中		令和5年中		前年同期比				
	阻止件数	阻止金額(円)	阻止件数	阻止金額(円)	阻止件数	阻止金額(円)	阻止件数	増減率	阻止金額(円)	増減率	
被害阻止 合計	397	100,526,608	408	206,911,196	417	140,483,040	9	2.2%	-66,428,156	-32.1%	
内 訳	オレオレ詐欺	37	67,050,000	45	111,750,000	33	58,636,000	-12	-26.7%	-53,114,000	-47.5%
	預貯金詐欺	25	60,000	19	90,800	2	0	-17	-89.5%	-90,800	-100.0%
	架空料金請求詐欺	261	30,422,272	307	88,042,595	330	44,901,090	23	7.5%	-43,141,505	-49.0%
	還付金詐欺	72	989,336	33	3,267,801	41	97,450	8	24.2%	-3,170,351	-97.0%
	融資保証金詐欺			0	0	1	0	1		0	0.0%
	金融商品詐欺			2	3,400,000	10	36,848,500	8	400.0%	33,448,500	983.8%
	ギャンブル詐欺	2	2,005,000	2	360,000	0	0	-2	-100.0%	-360,000	-100.0%
	交際あっせん詐欺										
	その他の特殊詐欺										

阻止率は65.5% (前年同期比-2.3%)

※ 阻止率=阻止件数÷(未遂事件を除いた認知件数+阻止件数)

○ 月別 阻止件数・阻止額 前年比



○ 月別 阻止件数 手口別

阻止件数(件)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	割合
オレオレ詐欺	1	3	1	4	4		2		4	2	6	6	33	7.9%
預貯金詐欺				1	1								2	0.5%
架空料金請求詐欺	26	31	27	15	22	32	34	34	37	26	25	21	330	79.1%
うち、 電子マネー	20	24	21	10	19	23	26	26	28	24	25	19	265	63.5%
還付金詐欺	5	5	2	4	3	8	1	1	4	4		4	41	9.8%
融資保証金										1			1	0.2%
金融商品	1	2			2			2			1	2	10	2.4%
ギャンブル														
交際あっせん														
その他														
合計	33	41	30	24	32	40	37	37	45	33	32	33	417	

○ 被害阻止者 手口別

被害阻止者(件)	電話でお金詐欺										阻止金額(円)	
	合計 (%)	オレオレ	預貯金	架空料金請求	還付金	融資保証金	金融商品	ギャンブル	交際あっせん	その他		
金融機関職員	87	20.9%	15		38	25	1	8				81,095,750
コンビニ店員	245	58.8%			243	1		1				24,815,290
運送業者	1	0.2%			1							4,200,000
警察官	3	0.7%			3							450,000
家族・親族	47	11.3%	15	2	26	3		1				25,557,600
友人・知人	9	2.2%	3		5	1						3,179,600
一般人	6	1.4%			6							499,200
その他	19	4.6%			8	11						685,600
合計	417	100.0%	33	2	330	41	1	10	0	0	0	140,483,040

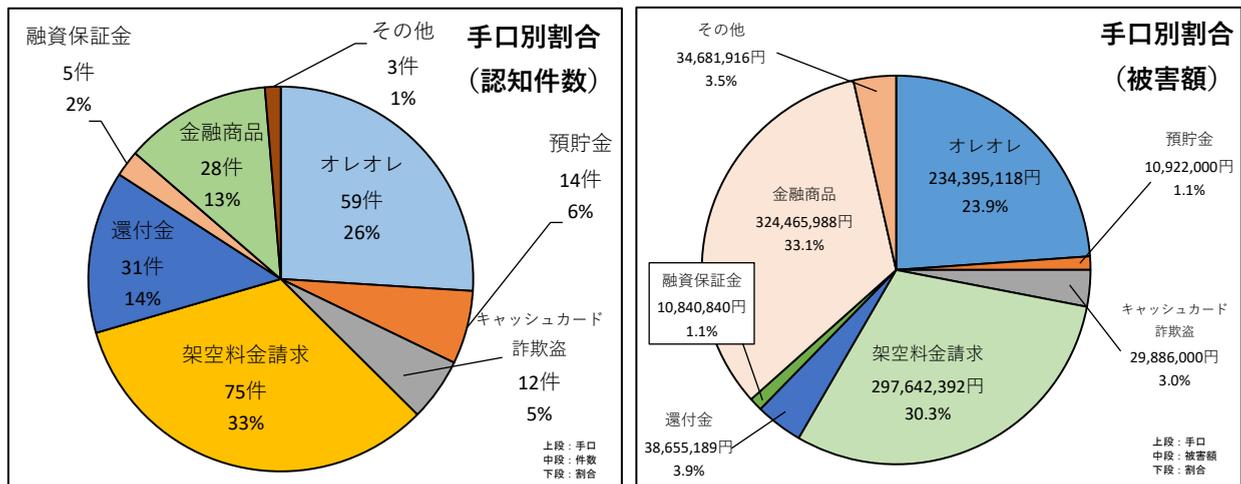
※ その他の内訳： 県市町村などの行政職員（14件）、通信事業者（2件）、警備会社（1件）、住職（1件）、電話会社（1件）

◆ 令和5年中 前兆事案件数

手口	令和4年中		令和5年中		増減		増減率	
	前兆事案		前兆事案		前兆事案		前兆事案	
		前兆事案のうち 犯行予兆電話		前兆事案のうち 犯行予兆電話		前兆事案のうち 犯行予兆電話		前兆事案のうち 犯行予兆電話
オレオレ詐欺	310	(310)	477	(477)	167	(167)	53.9%	(53.9%)
預貯金詐欺	141	(141)	56	(56)	-85	(-85)	-60.3%	(-60.3%)
架空料金請求詐欺	538	(71)	993	(442)	455	(371)	84.6%	(522.5%)
還付金詐欺	224	(224)	350	(350)	126	(126)	56.3%	(56.3%)
融資保証金詐欺	1	(0)	1	(0)	0	(0)	0.0%	(-)
その他	92	(37)	276	(216)	184	(179)	200.0%	(483.8%)
合計	1,306	(783)	2,153	(1,541)	847	(758)	64.9%	(96.8%)

◆ 令和5年中 電話でお金詐欺（特殊詐欺）の発生傾向（詳細）

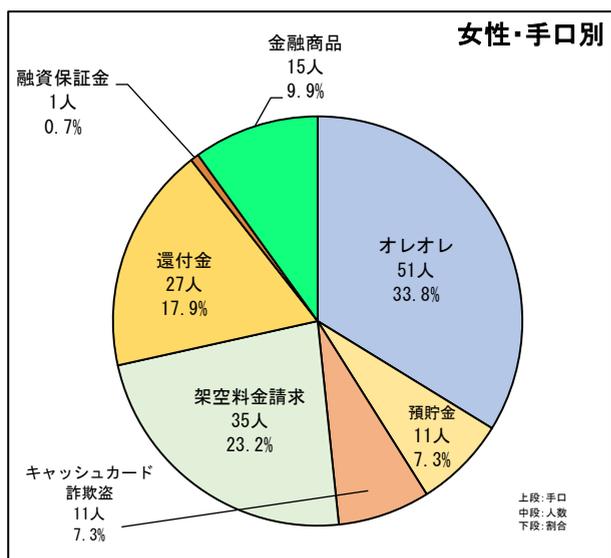
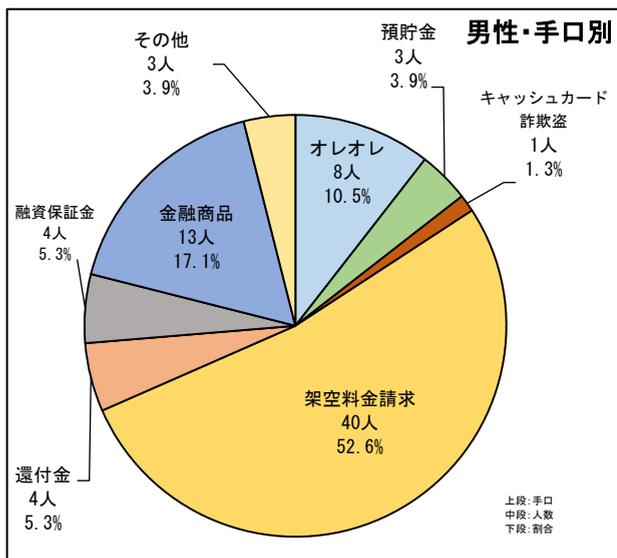
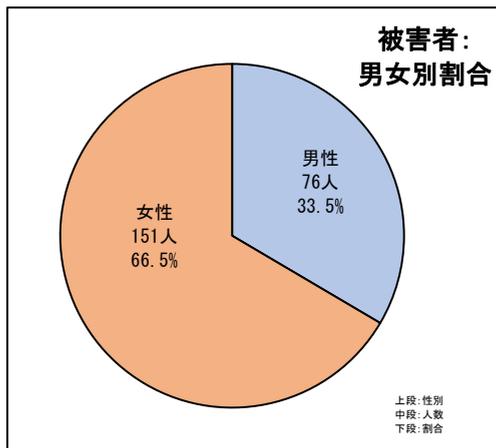
○ 手口別認知状況



○ 被害者の職業

	無職	会社員・会社役員	団体職員	契約社員・派遣社員	自営業	アルバイト	その他	合計
人数 (人)	133	42	8	2	15	16	11	227
割合	58.6%	18.5%	3.5%	0.9%	6.6%	7.0%	4.8%	100.0%

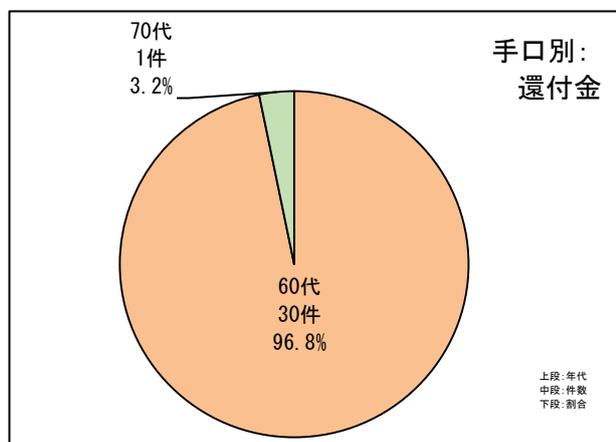
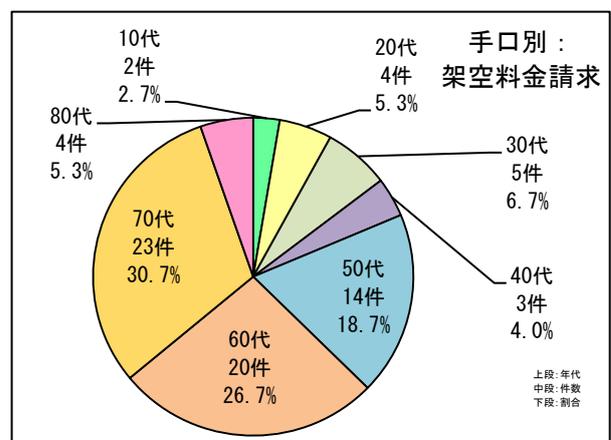
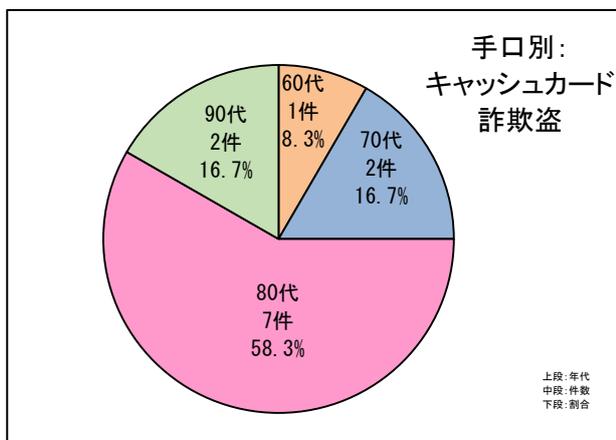
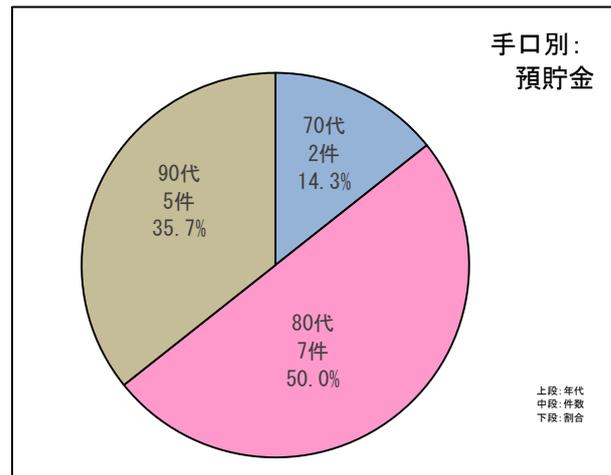
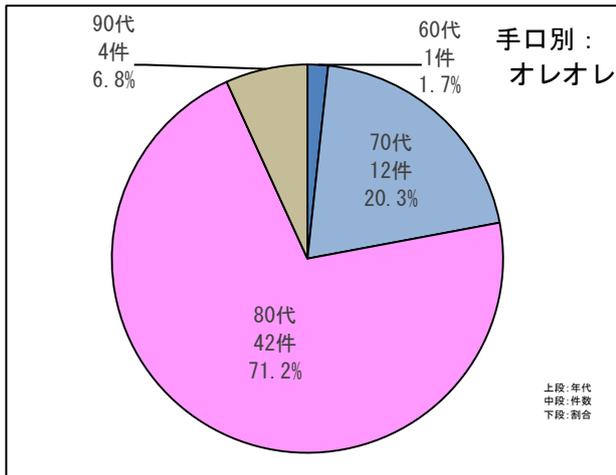
○ 手口別・男女数



○ 年齢別一覧

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	合計	
割合	1.3%	3.1%	2.6%	3.1%	12.3%	26.4%	18.9%	27.3%	4.8%	227	
人数(人)	3	7	6	7	28	60		43	62		11
高齢者別	高齢者以外					高齢者(65歳以上)					
	68					159					
割合	30.0%					70.0%					

○ 手口別 年齢構成比



・融資保証金詐欺
20歳代 3件 (60.0%)
50歳代 2件 (40.0%)

・金融商品詐欺
10歳代 1件 (3.6%)
30歳代 1件 (3.6%)
40歳代 4件 (14.3%)
50歳代 11件 (39.3%)
60歳代 7件 (25.0%)
70歳代 3件 (10.7%)
80歳代 1件 (3.6%)

・その他の特殊詐欺
50歳代 1件 (33.3%)
60歳代 1件 (33.3%)
80歳代 1件 (33.3%)

○ 交付形態別

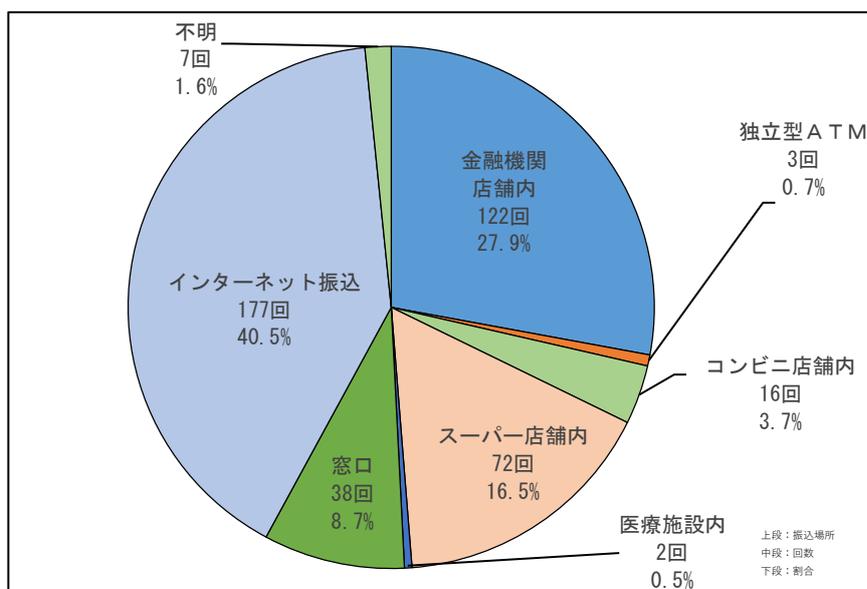
【主たる交付形態】（交付形態が複合した場合、被害額が多い交付形態）

	振込型		現金手交型		キャッシュカード手交型		現金送付型		電子マネー型		収納代行利用型		キャッシュカード窃取型		その他		合計		
	認知件数	うち未遂	認知件数	うち未遂	認知件数	うち未遂	認知件数	うち未遂	認知件数	うち未遂	認知件数	うち未遂	認知件数	うち未遂	認知件数	うち未遂	認知件数	うち未遂	
認知件数	100		50	3	15	1	8	1	39				12	1	3	1	227		7

【交付形態（延べ数）】

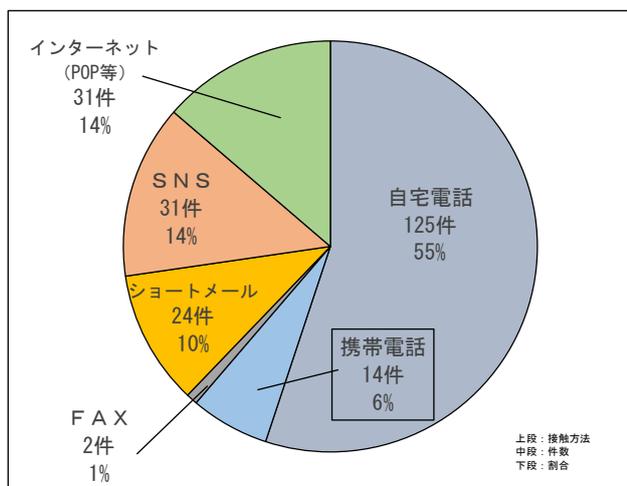
	振込型		現金手交型		キャッシュカード手交型		現金送付型		電子マネー型		収納代行利用型		キャッシュカード窃取型		その他		合計	
	交付回数	被害額	交付回数	被害額	交付回数	被害額	交付回数	被害額	交付回数	被害額	交付回数	被害額	交付回数	被害額	交付回数	被害額	交付回数	被害額
オレオレ詐欺	25	124,456,118	51	105,910,000	2	4,029,000											78	234,395,118
預貯金詐欺					15	10,922,000											15	10,922,000
キャッシュカード盗取型													12	29,886,000			12	29,886,000
架空料金請求詐欺	93	100,611,942	4	21,450,000			25	141,092,000	251	34,488,450							373	297,642,392
還付金詐欺	59	38,655,189															59	38,655,189
融資保証金詐欺	14	10,790,840													1	50,000	15	10,840,840
金融商品詐欺	175	318,008,856													12	6,457,132	187	324,465,988
ギャンブル詐欺																		
交際あっせん詐欺																		
その他の特殊詐欺	71	34,181,916							1	500,000							72	34,681,916
合計	437	626,704,861	55	127,360,000	17	14,951,000	25	141,092,000	252	34,988,450			12	29,886,000	13	6,507,132	811	981,489,443

【振込形態・場所】

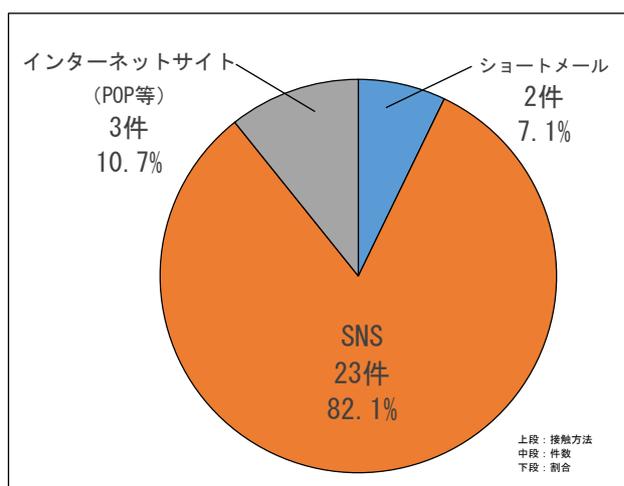


○ 被疑者側からの接触方法

【電話でお金詐欺被害全体】

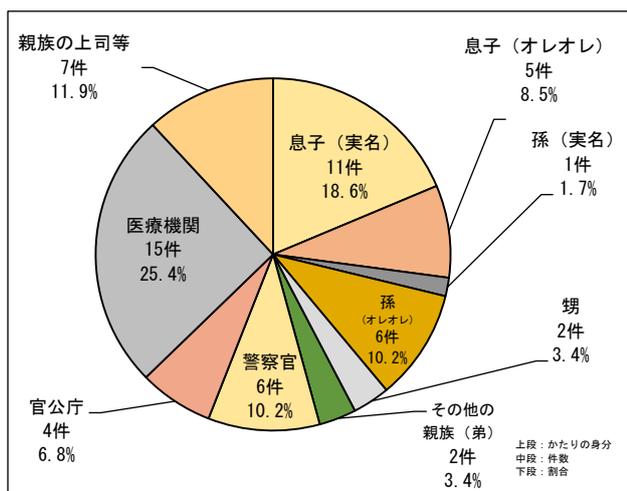


【金融商品詐欺】

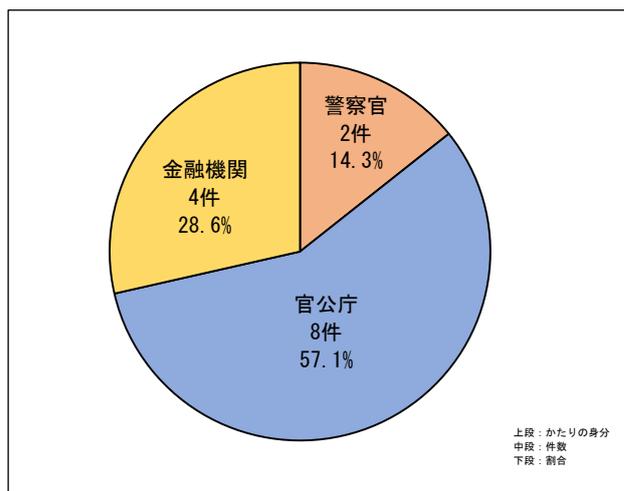


○ 主な手口のかたり、名目

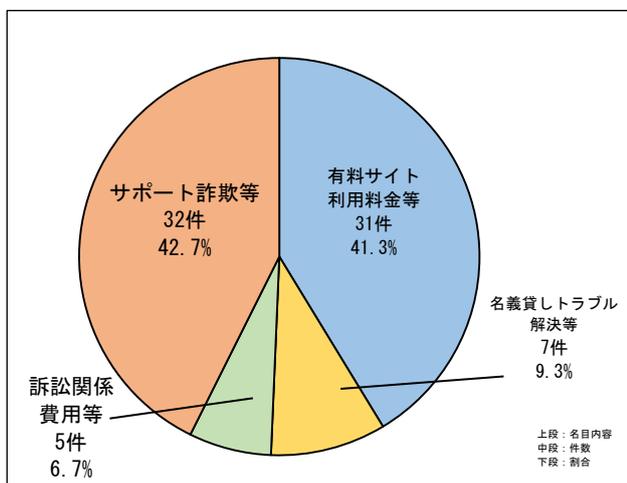
【オレオレ詐欺・かたり】



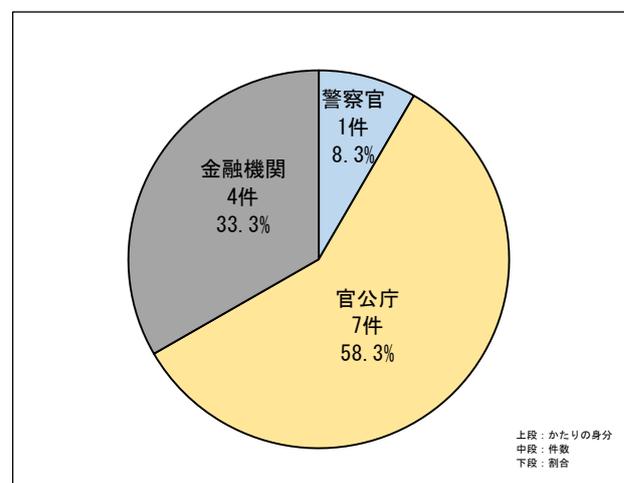
【預貯金詐欺・かたり】



【架空料金請求詐欺・名目】



【キャッシュカード詐欺盗・かたり】



電話でお金詐欺（特殊詐欺）の類型等について

電話でお金詐欺（特殊詐欺）とは、被害者に電話をかけるなどして対面することなく信頼させ、指定した預貯金口座への振込みその他の方法により、不特定多数の者から現金等をだまし取る犯罪をいう。

オレオレ詐欺	親族、警察官、弁護士等を装い、親族が起こした事件・事故に対する示談金等を名目に金銭等をだまし取る（脅し取る）ものをいう。
預貯金詐欺	親族、警察官、銀行協会職員等を装い、あなたの口座が犯罪に利用されており、キャッシュカードの交換手続きが必要であるなどの名目で、キャッシュカード、クレジットカード、預貯金通帳等をだまし取る（脅し取る）ものをいう。
キャッシュカード詐欺盗	警察官や銀行協会、大手百貨店等の職員を装って被害者に電話をかけ、「キャッシュカードが不正に利用されている」等の名目により、キャッシュカード等を準備させた上で、隙を見るなどし、キャッシュカード等を窃取するものをいう。
架空料金請求詐欺	未払いの料金があるなど架空の事実を口実とし金銭等をだまし取る（脅し取る）ものをいう。
還付金詐欺	税金還付等に必要の手続きを装って被害者にATMを操作させ、口座間送金により財産上の不法の利益を得る電子計算機使用詐欺事件又は詐欺事件をいう。
融資保証金詐欺	実際には融資しないにもかかわらず、融資を申し込んできた者に対し、保証金等の名目で金銭等をだまし取る（脅し取る）ものをいう。
金融商品詐欺	架空又は価値の乏しい未公開株、社債等の有価証券、外国通貨、高価な物品等に関する虚偽の情報を提供し、購入すれば利益が得られるものと誤信させ、その購入名目等で金銭等をだまし取る（脅し取る）ものをいう。これら金融商品に対して、購入意思のない被害者に名義貸しをさせた後、名義貸しをしたことによるトラブル解決名目等で金銭等をだまし取る（脅し取る）ものを含む。
ギャンブル詐欺	不特定多数の者が購入する雑誌に「パチンコ打ち子募集」等と掲載したり、不特定多数の者に対して同内容のメールを送信する等し、これに応じて会員登録等を申し込んできた被害者に対して会員登録料や情報料等の名目で金銭等をだまし取る（脅し取る）ものをいう。
交際あっせん詐欺	不特定多数の者が購入する雑誌に「女性紹介」等と掲載したり、不特定多数の者に対して「女性紹介」等を記載したメールを送付するなどし、これに応じて女性の紹介等を求めてきた被害者に対して会員登録料金や保証金等の名目で金銭等をだまし取る（脅し取る）ものをいう。
その他の特殊詐欺	上記特殊詐欺の類型に該当しない特殊詐欺をいう。